

一 般 質 問 要 綱

令和6年第4回6月定例会

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
1	20	齋藤 仁一	<p>1 喜多方市の財政における消費税の影響について</p> <p>(1) 市の歳入財源の一つに地方消費税交付金がある。今年度は11億1,256万円となっているが、この算出方法について伺いたい。</p> <p>(2) 地方交付税については、普通交付税及び特別交付税併せて98億9,419万円となっているが、この算出方法はどうか。また、地方消費税交付金との関連性はあるのか伺いたい。</p> <p>(3) 喜多方市の2022年度決算における学校関係(小中学校)、社会福祉関係(市立こども園、国民健康保険事業費、介護保険事業費、保健衛生費)、水道及び下水道事業会計における消費税額は幾らになったのか。また、このことを市はどのように捉えているのか伺いたい。</p> <p>2 教育予算の確保について</p> <p>(1) 喜多方市PTA連絡協議会では、毎年小中学校ごとに市に対して予算要望を提出している。その予算要望に対して、市はどのように対応しているのか伺いたい。</p> <p>(2) 今年度のわくわく喜多方推進事業の一つに、からだが喜ぶ健康給食推進事業がある。事業内容は、3項目(無添加調味料を使用した給食の提供、地産地消の推進及び特色ある学校給食の実現、本市産有機米を使用した米粉パンの提供)であるが、具体的にどのような給食内容になっているのか伺いたい。</p> <p>(3) 3月議会定例会文教厚生常任委員会で、学校給食の質と量に問題があるのではないかという指摘があったそうだが、私の地元の中学校でもご飯の量が足りない、パンの時のジャムが半分になった等の声を聞いた。市は3月議会後、どのような対応をしたのか伺いたい。</p> <p>(4) 就学援助制度の対象者は要保護及び準要保護者であるが、その動向はどのようになっているのか。また、援助については要保護者も準要保護者も同一内容であるのか、市としての具体的な対応を伺いたい。</p> <p>3 第9期介護保険事業計画について</p> <p>(1) 介護保険サービス利用者数の推計における2023年度標準的居宅サービス利用者、居住系サービス利用者、施設サービス利用者、サービス未利用者の推計値をどのように捉えているのか。また、その要因は何か伺いたい。</p> <p>(2) 訪問介護におけるニーズに応えられない状況であるが、ヘルパーなどの人材確保と人材育成への取組はどうか伺いたい。</p> <p>(3) 障がいを持つ方々も介護保険適用を願っているが、喜多方市の実態はどうか。また、第9期計画にどう反映されているのか伺いたい。</p>
2	13	後藤 誠司	<p>1 AIオンデマンド交通の西部地区拡大について</p> <p>喜多方・熱塩加納・塩川地区の東部エリアにおけるのるーと喜多方(みんべえ号)の運行実証を踏まえ、令和6年10月から山都・高郷</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>の西部地区へも拡大することのだが、以下の点について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 現在のA I オンデマンド交通東部エリアにおける運行実証の評価を伺います。 (2) 令和3年度から令和5年度までの予約型乗合交通山都・高郷地区コース別利用人数を伺います。高郷地区については、地域内利用と会津坂下町への利用別に伺います。 (3) A I オンデマンド交通導入により、どのように変わるのか伺います。 (4) 山都・高郷エリア内から喜多方市街地へも行けるようになることのだが、会津坂下便に支障はきたさないのか伺います。 (5) 行政区等でスマホの登録講座を行っていることのだが、その実績と今後の予定を伺います。 (6) 令和6年10月の導入を目指しているようだが、進捗について伺います。 <p>2 特定健診及びがん検診の受診率向上への取組について 生活習慣病の予防と早期発見への特定健診及びがんの早期発見のための各種がん検診は、市民の健康を守ることや医療費抑制のために大変重要であります。 そこで、以下の点を伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和3年度から令和5年度までの特定健診の受診人数及び受診率と、各種がん検診の受診人数及び受診率を伺います。 (2) 特定健診及び各種がん検診の受診率向上への取組を伺います。 (3) 受診率向上への取組の課題について伺います。
3	19	佐原正秀	<p>1 住民の安全・安心を守るインフラ施策について 行政は、住民がより暮らしやすいまちをつくるためにインフラの整備や管理に日々取り組んでいますが、それを限られた予算や人員のなかで実行し続けていくためには、新たな視点に立った施策が必要になってまいります。DXで超少子高齢社会を乗り切り、「日本一暮らしやすい喜多方」を実現するためにも、戦略的思考で直面する課題に臨むことが求められます。 そこで、リース方式を活用したサブスクで空調設備を一斉更改、A I 端末による住民サービスの提供、消防団専用クラウドシステムの導入、森林・林業DXで地域の資源をよみがえらせて新たな価値であるJ-クレジットの創出など、本市の対応と取組についてお尋ねいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 複数施設の空調設備の更改について (2) A I 端末による住民サービスの提供について (3) 消防団専用のクラウドシステムの導入について (4) J-クレジット制度の活用について (5) 地域包括ケアシステムの推進体制強化について <p>2 様々な手法で地域に活力を生み出す対策について 地域を活性化させるため、各自治体は様々な手法を使ってヒト・モ</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>ノ・カネ・情報と呼び込む施策を行っておりますが、まさに活力やにぎわいを生み出していくためのツールや人材などをいかに活用するかが重要な課題であります。</p> <p>データ活用による地域一体の連携で持続可能な観光経営の実現、クーポン事業の効果を高める電子化システムの構築、住民の地域貢献をアプリで加速させる政策の実現など、今後の対応についてお尋ねいたします。</p> <p>(1) データを活用した観光振興策について (2) 地域活性化策への電子クーポンの活用について (3) 住民参加のまちづくりについて</p> <p>3 新たな視点で支える教育現場・住民サービスについて</p> <p>児童・生徒がより学びやすい環境を整える、あるいは住民がより暮らしやすくなる環境を整えることは、行政にとって重要な責務の一つといえます。外部環境の変化が目まぐるしい現代においては、常に新たな視点を持ってそうした教育体制や住民サービスをブラッシュアップしていく必要があります。</p> <p>事業者がデジタル化を進める今こそ、住民の「知りたい」に即応できるサイトの仕組みづくり、学校への購買管理システムの導入など、本市の取組、対策についてお尋ねいたします。</p> <p>(1) 情報発信を通じた住民体験の向上について (2) 学校における購買管理業務の効率化について</p>
4	5	山口文章	<p>1 ふるさと納税について</p> <p>現在、手軽な寄附金制度として知られる「ふるさと納税」ですが、これは国民が好きな自治体を選んで寄附ができる制度で、過疎などにより税収が減収している地域と都市部との地域間格差を是正することを目的としてスタートしました。制度利用者は、寄附のお礼として自治体から返礼品がもらえるということで、利用者数は年々増加しています。</p> <p>本市における2023年度の「ふるさと納税」の実績は1億1,730万円でした。これは本市では過去最高の寄附額です。今年度は、寄附予定金額を1億6,900万円としており、今後も寄附額が増えることが期待されます。</p> <p>そこで、本市の現状について伺います。</p> <p>(1) 本市のふるさと納税における過去3年間の寄附金額の推移と、個人版ふるさと納税、企業版ふるさと納税別の過去3年間の寄附金額の推移を伺います。 (2) 返礼品の総数及び人気上位5品目を伺います。また、最近新たに加わった返礼品があるのか伺います。 (3) 2023年度が過去最高の寄附額になった理由について、本市の見解を伺います。 (4) 寄附金の活用項目について伺います。 (5) 寄附をいただいた方への対応について伺います。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>(6) 今後のふるさと納税の更なる向上への取組について伺います。</p> <p>2 鳥獣被害と対策について 鳥獣被害、対策については、私も数回質問してきました。全国では、年々増加する熊の出没やそれによる人的被害、暖冬による影響で有害鳥獣の個体数が増加したり、活動期が早まったりするなど、多くの問題が発生しています。 本市でも早い時期から有害鳥獣が目撃され、被害も発生しています。喜多方市を脅かす問題です。これまでの本市の取組について評価はしておりますが、これまで以上の対策が必要だと思っておりますので、市の考えを伺います。</p> <p>(1) 喜多方市内の熊、イノシシ、猿のほか、有害鳥獣の個体数等を把握しているのか伺います。</p> <p>(2) 電気柵購入の補助金の上限額が、今年度減額されました。市民の方々からは不満の声をお聞きしました。今後、見直す考えはあるのか伺います。</p> <p>(3) 有害鳥獣による過去3年間の農地被害状況について伺います。また、被害を受けた畦畔等の復旧に対する支援の考えを伺います。</p> <p>(4) 本市の鳥獣被害対策実施隊での第一種銃猟免許の所持者数について伺います。</p> <p>(5) 捕獲従事者育成事業補助金について伺います。 ア この補助金の内容と過去3年間の実績について伺います。 イ この補助金では、第一種銃猟免許とわな猟免許を取得するために補助できる項目には違いがあります。理由について伺います。</p> <p>(6) 以前質問した、有害鳥獣捕獲において諸条件をクリアすれば、狩猟免許を所持していない方でも捕獲に補助的に参加できる制度について、市の講習会の開催予定をお聞きします。</p> <p>(7) 本市の鳥獣被害対策について伺います。 ア 有害鳥獣に係る捕獲許可について伺います。 イ 対策には、追い払い（共存）、駆除（個体数管理）などありますが、本市の方向性について伺います。 ウ 全国では、有害鳥獣を捕獲し駆除すると批判的な意見が多く寄せられ、自治体も対応に苦慮していますが、本市の苦情への対応について伺います。</p>
5	7	遠藤吉正	<p>1 福祉施策について 近年、大規模な自然災害が毎年のように発生している。本市においても令和4年8月豪雨災害により各所において甚大な被害が発生し、市内の保育所等においても床上・床下浸水などの被害が発生した。 いわき市では、昨年9月の豪雨被害などを受けて、子供の安全を守るため、県内で初めて大雨や地震などの災害時に市内の幼稚園や保育所が休園する独自の判断基準を設け、今年4月より運用を開始した。 今後、本市でも子供たちの安全を守るための対策が必要であるとの観点から伺う。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>(1) 災害時における本市の保育所等での臨時休園等について、基準の現状について伺う。</p> <p>(2) 令和2年7月、厚生労働省より、保育所における臨時休園等の基準の策定を求める文書が発出されたが、本市ではどのような検討がなされ、どのように対応したのか伺う。</p> <p>(3) 本市でも、子供の安全を守るため、災害時における保育所等・幼稚園等・放課後児童クラブの臨時休園等の基準を策定すべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>2 観光施策について</p> <p>JRグループ6社による国内最大級の大型観光企画「デスティネーションキャンペーン(DC)」が、令和8年4月～6月まで本県において開催されることが決定した。東日本大震災や原発事故、さらにはコロナ禍により厳しい状況にある本市観光振興の好機と捉え、本市においても積極的な施策を講じるべきとの考えから伺う。</p> <p>(1) デスティネーションキャンペーン(DC)では、平成17年の「会津DC」、平成27年の「ふくしまDC」を契機に、本市の観光は大きく進化したと考える。これまでの経過を踏まえ、令和8年DCにはどのような目標を立てて市の独自性で臨むのか伺う。</p> <p>(2) 令和7年にはプレイベント、令和9年にはアフターイベントが開催されるが、今年度から民間や各団体と連携するとともに、地域一体となった体制で取り組むべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(3) 今年3月に見直された「喜多方市観光振興ビジョン」の計画年度が令和8年度までとなることから、計画でDCをどのように活用し、観光振興ビジョンの実現を図っていくのか伺う。</p>
6	12	渡部一樹	<p>1 人口減少対策について</p> <p>(1) 本市の人口減少の要因をどのように分析しているのか伺いたい。</p> <p>(2) 今後の施策展開の基本的な考え方について伺いたい。</p> <p>2 本市が締結している協定等について</p> <p>(1) 本市の政策課題解決のために民間事業者との協定締結を推進すべきと考えるが、見解を伺いたい。</p> <p>(2) 協定の相手方と関係課で定期的な確認作業などは行っているのか伺いたい。</p> <p>3 JR磐越西線喜多方駅の活性化策について</p> <p>(1) 活性化策の基本方針について伺いたい。</p> <p>(2) 喜多方駅・塩川駅開業120周年セレモニーの総括について伺いたい。</p> <p>(3) パークアンドライドの導入について見解を伺いたい。</p> <p>4 小中学校適正規模・適正配置について</p> <p>少子化等の現状から喜多方地区の小中学校の統廃合が急務と考えるが、以下見解を伺いたい。</p> <p>(1) 教員不足といわれるが、本市の実態を伺いたい。</p> <p>(2) 校舎、体育館の老朽化が著しいが、認識を伺いたい。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>(3) 部活動、特に団体競技が厳しい状況と認識しているが、見解を伺いたい。</p> <p>(4) 人口減少、財政状況から、現行計画よりも踏み込んだ取組が必要と考えるが、見解を伺いたい。</p> <p>(5) 教育関係者からも統合を進めてほしいとの声が届いている。喜多方地区は小中一貫校も見据えた取組が必要と考えるが、見解を伺いたい。</p>
7	9	小島 雄一	<p>1 遠藤市政二期目後半の方針について 遠藤市長二期目も既に2年が過ぎて任期後半となりました。コロナ対策や一昨年に発生した水害に対しての懸命な努力は評価するところですが、依然として人口減少による社会の衰退は止まっておらず、これからの2年は喜多方の将来にとって重要な期間になると思われる。そこで伺います。</p> <p>(1) 遠藤市政二期目後半において、最も重要視する政策を伺う。</p> <p>(2) 「疲弊した社会と経済の再創造」と公約にあるが、具体的な方向性とその方策を伺う。</p> <p>ア コロナ禍により減少した出生数の現状と回復のための対策を伺う。</p> <p>イ 本市の経済現状の概略を伺う。</p> <p>ウ 食料の生産という本市の強みを生かした食品産業の育成を図るべきと思うが、考えを伺う。</p> <p>2 そばと小麦の振興について ラーメン課とそば課の新設は全国的な話題ともなり、大いに期待するところである。地域循環経済の確立のために効果の大きい地元産のそばと小麦の生産について伺う。</p> <p>(1) 本市で消費されているそばと小麦の消費量と生産面積、生産量、取組農家数を伺う。</p> <p>(2) 収穫、乾燥、調製の体制をどうするのか伺う。</p> <p>3 小中学校の学習機の天蓋板の拡張器具使用について 現在、塩川中においては、同窓会の援助により、PC使用のため、狭くなった学習机を拡張して使うための補助板を使用しているが、考えを伺う。</p> <p>(1) 効果や欠点をどう考えるか伺う。</p> <p>(2) 市内全小中学校に利用拡大すべきと思うが、考えを伺う。</p>
8	21	山口 和男	<p>1 消滅可能性自治体への見解と対応策について 20～39歳の女性人口が減少する限り出生数は低下することから、若年女性人口の将来動向に着目して分析し、若年女性人口が2020年から2050年までの30年間で50%以上減少する自治体が「消滅可能性自治体」と定義されました。「人口戦略会議」の分析結果によると、消滅可能性自治体は全国744自治体を数えるそうです。</p> <p>一方、移動仮定（移動傾向が一定程度続くと仮定した推計）、封鎖人口（人口移動がなく出生と死亡だけで人口が変化すると仮定した推</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項及び質問要旨
			<p>計) とともに若年女性人口の減少率が 20%未満の自治体を「自立持続可能性自治体」といい、他には「ブラックホール型自治体」があり、移動仮定における若年女性人口の減少率 50%未満である一方、封鎖人口における減少率が 50%以上の自治体は、人口増加分を他地域からの人口流入に依存しており、しかも当該地域の出生率が非常に低いことから「ブラックホール自治体」と定義されています。</p> <p>そこで、以下の点について伺います。</p> <p>(1) それぞれ定義づけされた原因は何なのか、市の見解を伺います。</p> <p>(2) これらが若年女性人口の動向だけに起因すると決めつけることにより、対応策も過ちを繰り返すのではないのでしょうか。政府並びに人口戦略会議の見解に対する市の見解と対応策をお示してください。</p>
			<p>2 円安と国債発行と市民生活について</p> <p>(1) 財務省は1月、2024年度長期金利が想定よりも1%上昇した場合、2026年度の国債費(国の借金返済や利払いのための支出)が3.6兆円程度上振れするとの試算を公表しました。一般に消費税1%を引き上げて得られる税収が2.5兆円程度とみられますので、軽視できない金額になります。政府の財政運営の舵取りは一段と困難を極めます。</p> <p>円安は物価高で市民生活を破壊し、アベノミクスは安倍・菅・岸田政権でも続き、「大胆な金融政策で目標達成まで無期限の量的緩和を行うとしてデフレ脱却、2%の物価高」を実現するまで国債の大量発行で株価上昇を促し、それによる大企業の儲けを生み出しながら、それでも法人税を引き下げ、大企業に有利な政治を続ける姿勢は一向に変わりません。大企業への還付金はなぜ出てくるのか、制度と仕組みの説明を求め、またそれに対する市の見解を伺います。</p> <p>(2) 円高になれば国債の利払いに窮するので、その政策は一概にできません。現状、これほどの円安で国民生活を窮地に落とし込んでいる中で、他方株価上昇の恩恵を受けている資本家や、政治家の一部でも市場の動きを放置できなくなった。政府、日銀は2024年4月に17年ぶりに世界最後のマイナス金利を解除し、2回の為替介入実施で円高傾向に方向転換し、海外の主要中銀が利下げに向かうことで2025年は円高が進むと市場関係者は予想しています。17年ぶりにマイナス金利が解除になったことによる自治体の財政への影響をどう見ているか、市の考えを伺います。また、市として考えるその対応策を伺います。</p> <p>(3) 健康保険に上乘せして徴収する子ども・子育て支援金制度について、1人当たり平均500円を徴収するとの首相の発言を市としてどう捉えているか伺います。また、実施にあたり、3年間の1年目、2年目、3年目、それぞれで市民が負担する支援金の額を伺います。</p>
			<p>3 市民プール、17小学校、7中学校のプールについて</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>(1) 市内小中学校のプールはいずれも老朽化が進行しており、プール槽、シート防水または塗装、プールサイド改修、ろ過装置改修、ろ過循環配管改修、付属棟改修、フェンス改修が迫っております。</p> <p>市では、今後10年以内に必要となる改修費としては、小学校で6億9,200万円、同じく中学校で3億2,600万円、計10億1,800万円、建設60年を越えたプールを改築した場合は、小学校22億円、中学校4億円、計26億円と試算しています。</p> <p>市民屋内プールを建設した場合、費用の見積もりは幾らになるか伺います。</p> <p>(2) 今、姥堂小学校が駒形小学校へ、高郷中学校が高郷小学校へ、第三中学校が市民プールへということで、共同利用の試行をしていますが、結果次第では拡大する方向と言われていています。学校プールは学校ごとの設置が望ましいですが、改修、改築には大きな金額が必要で、交付税の減少、税収の減等の中で、子供の教育上どんなことがあってもプールが必要であるなら共同利用など、工夫をこらして実施していくことが肝要と考えます。</p> <p>私は、市民屋内プールを建設して、そこで各学校の児童生徒が楽しく快適に泳ぎができる共同利用ができるようにすべきと考えますが、いかがか伺います。</p> <p>また、夜は市民や市外の住民にも利用していただく施設として活用すればよろしいのではないかと思うところですが、いかがか伺います。</p>
9	3	坂内まゆみ	<p>1 高齢者の見守り体制について</p> <p>(1) 全国的にも独り暮らしの高齢者は増えていて、孤独死、孤立死といった問題が新聞などで取り上げられています。本市においても独り暮らしの高齢者は多く、孤独死や孤立死を防ぐためにも、民生児童委員や地域包括支援センター、安全協力員、行政区長などと連携した見守りや支援が大変重要となっていると考えますが、市の見解を伺います。</p> <p>(2) 親族が近くにいない独り暮らしの高齢者の場合、地域での見守りが必要となってきますが、農村部においては高齢化が進み、高齢者が高齢者を見守るというケースも少なくありません。介護認定を受けたとしても、受けた本人も、見守り側も制度を理解することが難しく、適切なサービスを受けることができないこともあるかと思えます。</p> <p>こうした状況においては、これまで以上に地域包括支援センターと、地域に身近にいる民生児童委員や行政区長などとの連携が必要となってきますが、民生児童委員、安全協力員、行政区長に対して、介護保険サービスや高齢者支援に関して、どのように制度説明や指導を行っているのか伺います。</p> <p>(3) 介護認定を受けた高齢者でサービス利用に至らなかった場合、状況は一刻一刻と変わるものです。親族が近くにいない場合は、現況</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>を伝えることが難しく、気が付いたら、歩くことが難しくなったり、認知の衰えが進んでいたりすることも少なくありません。地域包括支援センターの訪問が早期支援へとつながるものと考えますが、市の考えを伺います。</p> <p>(4) 同居家族がいた場合でも、制度の説明や申請方法などが難しく、容易に理解できないケースも多くあります。もっと市民目線での周知が必要と考えますが、市の考えを伺います。</p> <p>(5) 孤独死や孤立死を防ぐのは、独り暮らしの高齢者や高齢世帯だけでなく、日中一人になる高齢者や障がい者への見守りや見回りも必要と考えます。</p> <p>しかし、市や包括支援センターが全てを把握するのは難しく、民生児童委員の訪問、行政区内での日々の声掛けが重要となってくるものと思います。民生児童委員や行政区長とどのように連携しているのか伺います。</p> <p>(6) 高齢者の見守りの一環として、緊急通報システム事業がありますが、何名の方が加入され、周知はどのようにされているのか、またこれまでにどのような成果があったのか伺います。</p> <p>(7) 独り暮らしの高齢者等が、地域の中で安心して日常生活を送れるように、安全協力員事業がありますが、制度の周知はどのようにされているのか伺います。</p>
			<p>2 生活支援支え合い会議について</p> <p>(1) 住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、住民主体で取り組む支え合い会議が各地域で作られています。地域の中でどのような支え合いをしているのか、具体的な事例を伺います。</p> <p>(2) 地域においては、支え合い会議の認知度はまだまだ低いため、どのようにして周知し、地域住民の理解を深めていくのか伺います。</p> <p>(3) 地域の中で高齢者が自分らしく暮らしていくためには、支え合い会議が、今後ますます重要になってくると思います。市としてどのように活動を支援していくのか、また今後の支え合い会議の在り方について市はどのように考えているのか伺います。</p>
			<p>3 学校通学の支援について</p> <p>(1) 春になってから熊の出没が相次いでいます。近年は、通学経路や集合場所付近でも目撃されたこともあり、子供たちの安全・安心な学校通学が脅かされています。さらに熱中症や冬季間の事故、不審者など、子供たちの学校通学を取り巻く環境は、一昔と違って大きく変化しています。子供たちが安全・安心に通学するためには、スクールバスやA I オンデマンド交通「のるーと喜多方（みんべえ号）」での登下校が不可欠です。スクールバスと、「のるーと喜多方（みんべえ号）」での通学支援の補助エリア拡大及び補助対象者の通学距離の見直しができないか伺います。</p> <p>(2) 昨今、学区外へ通学する児童・生徒が増え、本来入学するはずの子供の数より少なく入学した学校があります。通学支援は、郊外地</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>域の小中学校への通学メリットの一つとして非常に大きいものであり、子育て支援にもつながるものと考えますが、市の見解を伺います。</p>
10	6	十二村秀孝	<p>1 そばの郷喜多方の発展について</p> <p>本市は、全国有数のそば産地であるだけでなく、全国的に有名な会津山都そばをはじめ、雄国そば、会津駒形そば、ひめさゆりそば、雷神そばなど、地域ごとに特色あるそばの文化が育まれ、今なお息づいています。令和4年度には、山都そばが文化庁による地域で世代を超えて受け継がれる「100年フード」として認定されるなど、喜多方ラーメンとともに、本市のそばは、国内外に誇れる地域資源となっています。</p> <p>一方で、高齢化等に伴い、そばフェスタの開催ができなくなるなど、今後、そばの郷喜多方としての持続的発展が危惧される状況にあります。</p> <p>そこで、次の4点について伺います。</p> <p>(1) 市内でそばを提供する店舗について、旧市町村毎の店舗数と近年の動向について伺います。</p> <p>(2) そばの郷喜多方創造会議における過去3年間(令和3年度～5年度)の取組内容について伺います。</p> <p>(3) そばの郷喜多方創造会議の構成員となっているそば打ち団体数と、これら団体の現状をどのように捉えているのか伺います。</p> <p>(4) 本市がそばの郷として持続的に発展していくためには、どのような取組が必要と考えているのか伺います。</p> <p>2 空き家問題について</p> <p>本市では空き家対策として、改修や撤去に対する様々な支援や喜多方市シルバー人材センターと管理に関する協定を締結し、空き家の適正な管理を進めています。しかし、未だに空き家件数は1,829件と高止まりの状態にあります。</p> <p>そこで、次の4点について伺います。</p> <p>(1) 昨年12月に空家等対策特別措置法が改正されましたが、市民への周知はどのように行ったのか伺います。</p> <p>(2) 現在の特定空家等及び管理不全空家等に認定されている件数について伺います。</p> <p>(3) 昨年の空き家バンクへの問い合わせ件数及び内容について伺います。</p> <p>(4) 今後の空き家の解消に向けてどのような取組が必要であると考えているのか伺います。</p>
11	15	齋藤勘一郎	<p>1 令和4年豪雨災害の復旧工事について</p> <p>(1) 昨年末において山都・高郷地区で農地・農業用施設の未受注工事箇所があったが、その後の進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 市単独補助事業について、申請された分は全て完了し、本年の作付けについてはどのように実施されたのか伺う。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>2 主要地方道喜多方西会津線小舟寺工区について 令和6年度における改良整備計画の工事内容について伺う。</p> <p>3 有害鳥獣対策について</p> <p>(1) 熊が指定管理鳥獣に追加指定となったことにより、これまでどのように変わるのか伺う。また、市内に生息する熊の頭数はどのくらいと推測しているのか伺う。</p> <p>(2) イノシシ被害対策について、これまでどのように成果が上がってきていると判断しているのか伺う。また、市内にどのくらいの頭数があると推測しているのか伺う。</p> <p>(3) 猿の出没範囲が年々拡大しているが、これまでどのように対策に取り組んできたのか伺う。また、市内にどのくらいの頭数があると推測しているのか伺う。</p> <p>(4) 追い上げ花火の確保・調達について、どのように取り組んでいるのか伺う。</p>
12	8	菊地とも子	<p>1 観光振興について</p> <p>(1) さくらまつりについて</p> <p>ア 日中線しだれ桜の入り込み数について</p> <p>イ さくらまつりの経済効果について</p> <p>ウ さくらまつりライトアップの効果について</p> <p>(2) 三ノ倉高原花畑について</p> <p>(3) 喜多方ラーメン課・そば課について</p> <p>ア 喜多方ラーメン課・そば課窓口を設置した目的と今後の展開について</p> <p>イ 「喜多方ラーメンの日」の取組について</p> <p>2 誰一人取り残さない社会の構築について</p> <p>(1) 自転車用ヘルメット購入費補助支援について</p> <p>(2) 防災士資格取得支援について</p> <p>(3) 高齢者一人暮らしへの防犯カメラ購入費補助支援について</p> <p>(4) 带状疱疹ワクチン接種支援について</p> <p>(5) #7119・#8000の周知について</p> <p>3 雄国根曲がり竹細工保存事業について 雄国根曲がり竹細工保存会について</p>
13	2	田中修身	<p>1 小学校教科書の改訂に伴う教師用指導書について</p> <p>(1) 今年度は、4年に一度の教科書改訂が行われました。採択された新しい教科書が学校に配当されましたが、教師用指導書・デジタル教科書は、その一部しか配当されず、新しい教科書の内容を前にして、現場の先生方には不安が広がりました。</p> <p>教育委員会は、予備費を充当し対応に当たりましたが、購入された教師用教科書・デジタル教科書は、英語と算数のみでまったく不十分です。どうしてこのような対応になったのか、教育委員会からの説明を求めます。</p> <p>(2) 教師用指導書は、特別支援学級分を含めた全学年・全学級・全教</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>科分を準備することは当然のことと考えますが、教育長の見解を伺います。</p> <p>2 市内幼稚園・保育所等の利用料（保育料）について</p> <p>(1) 市内保育所等の保育料における子ども（0歳から3歳未満）の利用者負担額（保育料）の令和4年度、令和5年度の総額は幾らですか、伺います。</p> <p>(2) 施設別の違いはあれ、令和元年10月1日から幼稚園・保育所等を利用する3歳児から5歳児までの全ての児童の利用料は無償となっています。また、0歳児から2歳児の児童は、住民税非課税世帯が無償となっています。</p> <p>少子化対策並びに子育て世代への支援策として、市独自に0歳～2歳児等の子どもの利用料金の無償化を実施すべきと考えますが、市長の考えを伺います。</p> <p>3 国民健康保険制度について</p> <p>(1) 12月2日から現行の健康保険証が廃止になります。経過措置として、廃止後1年間は現行の保険証をそのまま使用できるとなっていますが、マイナンバーカードを持たない人は、資格確認書を市が発行することになります。これは5年間使用が可能です。しかし、これは本人の申請です。「資格確認書がないから病院にかかれなかった」などということがないようにしなければなりません。取り残される人が出ないような対策が必要不可欠と考えますが、市長の見解を伺います。</p> <p>(2) 昨年5月8日で新型コロナウイルス感染症が5類に移行になりました。今年の3月31日までで、コロナの治療薬・ワクチン接種の公費負担もなくなりました。ワクチン接種は、定期接種だけ国が支援を行うことになります。国は、この基準額を7,000円と決めました。</p> <p>市における自己負担額は幾らになるのでしょうか、伺います。</p> <p>(3) 少子化対策並びに子育て世代への支援策として、国保税における子ども（0歳から18歳）の均等割りについて、0（ゼロ）円にすべきだと考えます。市長の見解を伺います。</p>
14	4	高畑孝一	<p>1 空き家対策について</p> <p>(1) 現在の空き家件数とその対応について伺います。</p> <p>(2) 空き家が利活用されたり、周辺住民に迷惑をかけない対策が必要です。専門員を養成し、対策を強化してはどうか伺います。</p> <p>2 下水道事業について</p> <p>(1) 令和7年度からの使用料値上げが示されたが、加入促進にブレーキをかけるのではないかと、市の見解を伺います。</p> <p>(2) 下水道加入の際の補助金を大幅に増やすことが必要と考えるが、市の見解を伺います。</p> <p>(3) 下水道事業の利活用として、汚泥・ガス・熱など多々示されているが、市の見解を伺います。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
15	10	矢 吹 哲 哉	<p>1 社会保障として国民健康保険制度を充実させるために</p> <p>(1) 令和6年度国民健康保険税率を改定し、値上げをすることには賛成できない。2年前に続き、なぜ本年度も値上げが必要なのか伺う。</p> <p>(2) 市の一般会計から繰入れ、値上げを回避すべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(3) 令和11年度予定の県内統一保険料率の方針は撤回すること、国保財政安定化のために国・県が負担割合を増加することを市として求めるべきと考える。市長の見解を伺う。</p> <p>2 「郷土資料館等の整備方針（カイギュウランドたかさとへの集約）」の見直しについて</p> <p>(1) 整備方針は、市民への説明、内容等の検討が十分になされないまま、本年3月に決定した。決定までどのような検討をしたのか。検討内容、検討した会議名を時系列に伺う。 また、なぜ市民を交えた検討委員会を設置しないのか伺う。</p> <p>(2) 既存施設と他課所管施設内の資料等を集約する場所として、カイギュウランドたかさとに決定した理由を伺う。 ア どのような目的、内容の施設として整備するのか伺う。 イ 施設の規模（展示スペース、収蔵スペース、体験スペース）についての検討結果を伺う。 ウ 学芸員の配置など、施設の運営・体制についての検討結果を伺う。</p> <p>(3) 決定を見直し、旧喜多方東高校跡地に整備すべきと考える。市長の見解を伺う。</p>
16	14	五十嵐吉也	<p>1 環境省が2022年度に公表を行った「ごみ屋敷」の調査について 本市は、この環境省の調査に回答されましたか。回答された内容をお尋ねします。回答されないとすれば、その理由は何か、今後単独で調査されますか、伺います。</p> <p>2 行財政改革について</p> <p>(1) 中長期的な政策推進のために積立を行っている基金について 本市の基金に係る終了時期の明記について</p> <p>(2) 財政調整基金や減債基金を一般会計に繰り入れる予算編成について ア 財政調整基金や減債基金の繰替運用の根拠について イ 繰替運用された元金と利子を基金に戻す一般会計の支出科目について ウ 身の丈に合った予算編成について</p> <p>(3) 喜多方市職員の給与は県下一高いとの報道について ア 人件費の削減について イ 各種産業施策で県下13市で総生産額の低い数値を是正されたか伺います。</p>